

# 2017年度 事業報告

社会福祉法人 新瑞福祉会

2017年度、法人は下記の社会福祉事業を進めて来ました。公益事業及び収益事業に該当する事業はありません。

## 1. 新瑞福祉会の目標

「女性の働く権利」と「子どものゆたかな発達」を保障する保育園づくりのスローガンのもとに

(1)多様な保育要求にこたえる保育園をつくります。

産休明け、乳児、長時間・延長、障害児、途中入所、一時保育、日祝保育、アレルギー食などの多様な保育要求にこたえます。

(2)保護者とともによりよい保育内容をつくります。

(3)地域の保育センターの役割を果たし、子育て支援をすすめます。

(4)健康で生き生きと働き、学び高まりあう職員集団をめざします。

## 2. 法人本部及び施設の事業について

### (1)法人本部

- ・理事会、評議員会の開催（予算・決算、事業計画、事業報告等）。
- ・社会福祉法改正に伴い定款変更。役員及び理事長の選任について。
- ・とうえい保育園の開設と保育の引継等について。
- ・職員の処遇改善、給与規程等の改定。
- ・各施設の運営状況、施設整備・備品購入について。
- ・職員体制、職員採用について。
- ・学童保育所「運営委員会」の開催。各園運営委員会への参加。

### (2)たんぽぽ保育園

- ・産休明けから就学前まで定員 80 名。3～5 歳児の異年齢保育を基本に、0 歳児からの保育の交流を行ってきました。年間利用者数 1106 名。
- ・延長保育 7 時～24 時まで。産休・育休明け途中入所予約事業、障害児保育、一時保育事業（年間利用者数 2157 名）、24 時間緊急一時保育事業（年間利用者数 843 名）、アレルギー食を実施。
- ・一歳児室の改修、二歳児室の手洗いの改修、職員の休憩室の改修を行いました。

### (3)こすもす保育園

- ・産休明けから就学前まで定員 100 名。年間利用者数 1343 名
- ・延長保育 7 時～20 時まで、産休・育休明け途中入所予約事業、障害児保育、日祝日保育事業（年間利用者数 529 名）、地域子育て支援センター事業、アレルギー食を実施。
- ・0 歳児クラスの修繕を行いました。また、民間保育所等防犯対策強化整備事業補助金を受けて、門扉の改修、防犯カメラを設置しました。

### (4)さざんか保育園

- ・産休明けから 3 歳児まで定員 40 名。年間利用者数 473 名
- ・延長保育 7 時～19 時半まで、産休・育休明け途中入所予約事業、障害児保育、アレルギー食を実施。

- ・全クラスのエアコン洗浄、2・3歳児クラスの棚の買い替え、印刷機の購入。

#### (5) ななくさ保育園

- ・産休明けから就学前まで定員 60 名。年間利用者数 811 名
- ・2015 年 4 月、名古屋市の待機児対策である「賃貸保育園」として中根学区に開園しました。1 歳から 5 歳と一緒に生活する異年齢保育を実施しています。

#### (6) とうえい保育園

- ・産休明けから就学前まで定員 120 名。年間利用者数 1456 名。
- ・障害児保育・産休明け保育・延長保育・入所予約事業・アレルギー給食を実施。
- ・2 階ホール前のテラスに手摺格子を設置、2 階テラスの東側の通路に扉を設置、3 階屋上園庭のフェンスに網状のフェンスを継ぎ足すなど安全対策を行いました。

#### (7) あさがお学童保育所・第 2 あさがお学童保育所（留守家庭児童育成会事業の実施）

- ・井戸田小、豊岡小、菊住小の約 829 名の児童を、2 つの学童保育所で受け入れてきました。
- ・年間利用者数、あさがお学童保育所 417 名、第 2 あさがお学童保育所 412 名

#### (8) 児童発達支援たんぽぽ・放課後等デイサービスあさがお

- ・多機能型の障害児通所支援事業書として、児童発達支援（デイたんぽぽ）と放課後等デイサービス（デイあさがお）の事業を運営してきました。たんぽぽ保育園及びあさがお学童保育所の児童との交流を日常的にすすめてきました。年間利用者数、児童発達支援たんぽぽ 263 名、放課後等デイサービスあさがお 1,430 名。

#### (9) 相談支援事業あさがお

- ・障害児相談支援事業は、障害のある児童本人およびその家族と相談をして、子どもの発達保障をめざして、サービス利用計画の作成を行いました。年間利用者数は延べ 130 名。
- ・学校との懇談、関係事業所との担当者会、ケース会議など開催・参加して、関係者をつなげ、子どもと家族の願いにそった支援を実施してきました。

### 3. 職員の状況と施設運営について

- ・正規職員は法人全体で 93 名、非正規職員は約 200 名。2017 年度の産休取得者は 6 名、育休取得者 7 名、育休短時間勤務 3 名、病休者 1 名。
- ・子どもたちの健やかな発達をめざし、保護者や地域とも連携しながら日々の保育を行ってきました。
- ・ヒヤリハットの取組、安全対策会議の開催、安全教育等、事故防止対策と安全意識の向上に努めてきました。
- ・各施設で、毎月 1 回の火災避難訓練、地震を想定した訓練を実施してきました。
- ・実践検討会、新人研修、中堅研修、ベテラン研修、実技研修等を行って来ました。合研、保問研、愛保協研修、あいち保共連研修など外部研修に多くの職員が参加してきました。
- ・職員面談、特殊検診の実施、労働安全衛生委員会の開催、産業医からの助言や指導を受け、職員の健康管理に努めて来ました。
- ・名古屋市保育園連盟、全国民間保育園経営研究懇話会、愛知保育団体連絡協議会、あいち保育共同連合会、愛知県民間社会福祉施設経営管理者会議、瑞穂区保育団体連絡会など、諸団体と連携して来ました

- ・瑞穂区子育て支援連絡会に参加し、瑞穂区子育てネットワーク「さくらっこ」、子育てサロン「さくらひろば」、「赤ちゃん広場」に職員を派遣。
- ・各園で、子育て支援室開放・お庭であそぼう・赤ちゃんひろば・プールで遊ぼう・クリスマス会などの地域開放事業を行ってきました。
- ・法人ホームページで、事業内容、子育て支援事業の状況、財務状況、現況報告、定款などを公開。各園で地域新聞（年間3回）を発行しました。
- ・苦情の状況について  
苦情受付、第三者委員会を設置。2017年度、苦情処理規程に基づく苦情受付はありませんでした。